

3. 奈良県十津川村歴史資料調査

渡邊 幸奈

1. 概要

文化情報学実習室では、2017年度から奈良県十津川村の村史編さん事業の一環として十津川村伝来の古文書及び歴史資料の調査・整理を実施しており、2022年3月に『十津川村史 歴史資料編（近世1）』、2023年3月に『十津川村史 歴史資料編（近世2）』が刊行された。十津川村史編さん事業には、本学から東昇（教員）と水谷友紀（共同研究員）、他多数の院生、学生が歴史部会の調査に参加している。以下、2023年度調査は前年度に引き続き、十津川村教育委員会事務局大向翔太学芸員、吉見真理子氏のご協力のもと実施した。

2. 櫻平家文書調査

本調査は、京都府精華町において実施し、十津川村重里から移住された個人所蔵の近世近代文書の確認、番号付与、撮影を行った（写真1）。

調査日程 2023年8月4日

調査参加者 東昇（教員）、長谷川巴南（博士前期課程2回生）、渡邊幸奈（4回生）

同文書群の調査は2018年度にも実施しており、本調査では箱9～14、及び任意で選定した資料を便宜的に箱15とし、計118点の追加調査を行った。撮影した写真をもとに、後日目録を作成した。追加調査のうち、年代が明らかなもので最も古いものは元和2年（1616）の「郷中刻割帳」（箱14-1）で、近世初頭における十津川郷各村の石高、軒数などがわかる。箱10には近世中期から明治期の田地山林の売買証文、金銀借用証文などがまとめて収納されていた。追加調査全体を通して幕末から明治初頭にかけての資料が多く、特に、幕末のものとして推測される「御由緒大略」（箱11-1）や慶応4年（1868）の「御所勤番中御用触留帳」（箱14-10）などから、当該期において御所警備を担った十津川郷士の動向がわかる。また、作成年は不明であるものの、十津川郷の出来事を記した「天皇記・將軍代々・御代官代々記」（箱14-11）が確認できた。

3. 丸田家文書調査

本調査は、大阪府豊中市日本民家集落博物館において実施した。同博物館には十津川村込之上から旧丸田家住宅が移築されており、本調査では併設する土蔵に収蔵された近世文書を中心に撮影を行った（写真2、3）。

調査日程 2023年8月18日

調査参加者 東昇（教員）、長谷川巴南、正瑞千幸（以上博士前期課程2回生）、渡邊幸奈（4回生）、小島慧音、島村朱音、渡部凌空（以上3回生）、上武恒介（1回生）

同文書群の一部は既にマイクロフィルム・コピーが作成されており、本調査では資料の性格ごとに分類されている箱A～Fの未撮影資料、及び箱Q、R、U、Yから選定した資料、計172点を撮影した。また、箱Qの未撮影資料、及び目録採取・写真撮影が未着手であった箱Zについては十津川村教育委員会が借用し、後日、番号付与、目録採取が行われた。

4. 十津川歴史資料調査

本調査は、十津川村役場及び十津川村歴史民俗資料館において実施した（写真4）。

調査日程 2023年9月16～20日

調査参加者 渡邊幸奈（4回生）、小島慧音、渡部凌空（以上3回生）、上武恒介（1回生）

本調査では、日本民家集落博物館より借用した丸田家文書Q・Z、玉置神社文書箱22、及び小原滝家文書、計839点の撮影を行った他、深瀬家資料の一部に番号付与を行った。丸田家文書箱Qには近世十津川郷の寺社関係資料が一括して収納されており、丸田家が元々込之上村（現十津川村込之上）にあったことから、惣社である下ノ宮四社大明神の普請や遷宮に関する史料が多い。また、修験道関係では、近世の聖護院門跡入峰に関する史料を多く含む。箱Zには近世近代の書状、覚書、勘定書が一括して収納されており、当該期における丸田家の交友関係や経営状況を知る上で好個の資料となることが期待される。

本調査成果は、2024年3月刊行予定の資料編（近現代）及び本文編などに活用される。



写真1 樫平家文書調査の様子



写真2 搬出の様子（旧丸田家住宅土蔵）



写真3 調査風景



写真4 写真撮影の様子

編集後記

フィールド集報の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの考古・建築・地理・文化情報の合同実習メニューとして学生が Adobe 社の InDesign を利用しておこなっている。

今年度は、3年ぶりに多様な場所・フィールドで調査をおこなうことができた。調査時だけでなくその後の作業においても多くの方々からご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。

海外の調査も徐々にではあるが再開されるようになった。来年度はまた違うところに行きたいと思う今日この頃である。(き)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第10号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2024年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
